

編集後記・・・

■本誌創刊号を開きますと、鹿児島ペンシルクラブ代表の故相屋雅子さんをはじめとして、錚々たる方々が著者陣に名前を連ねておられます。創刊号から17年、いろいろな方との出会いを頂き、著者陣の幅も広がってまいりました。本号では新たに、現薩摩川内市のご出身で茨城県鹿嶋市在住の田鍋一樹さんと鹿児島県観光プロデューサーとして長年に活躍されてこられた奈良迫英光さんにご執筆頂きました。■中西喜彦さんの会長就任に伴い入来院久子さんに編集担当に加わって頂きました。創刊号編集後記に書かれています『入来武家屋敷群の一角から発信されるこの小冊子が、いさよかなりとも文化的な刺激となり得ればと念じております』という入来院貞子さんの思いを、編集担当という立場でこれからも引き継いで行きたいと思っております。久子さんが編集担当に加わっていただき、頼もしい限りであります。(下土橋)

■「炉ばたセイ談」の初代会長が桐野二郎さん。その後を引き継いで会長となつて「尻力」くださったのが澁谷繁樹さんでした。この度、これまで編集を担当していただいていた中西喜彦さんが三代目の会

長を務めてくださるようになりました。■その代わりに編集担当に私が名を連ねることとなったのですが、実は下土橋渡さんにおんぶに抱っこで、編集作業はほとんど下土橋さんがしてくださつたので、この編集後記を書くことすらおこがましい気がします。それでも、『入来武家屋敷から発信したい』という「き母」や今年90歳になった父の想いを、こうして皆さまが寄稿していただくことで、引き継いで途絶えることなく「炉ばたセイ談」を発行できることは大きな喜びです。■本当に多くの方々のご厚意で今年も「炉ばたセイ談」が出来るようになりました。深く皆さまに感謝いたします。(久子)

「炉ばたセイ談」 第17号

炉ばたセイ談会会長 中西喜彦

編集担当 下土橋渡・入来院久子

事務局T895-1402

薩摩川内市入来町浦之名130

入来院重朝方

TEL・FAX 0996-44-3586

印刷 新大同印刷(株) (0996-30-1811)